

「遊び」と「学び」が交わる時間

東京藝術大学 音楽アウトリーチ

in まどか幼稚園

～園児たちが素晴らしい音・音楽に出会う～

アーティストサポートファンドで支援した、アウトリーチ活動の様子をご報告します。
これまでスペシャルコンサートに出演しているお馴染みの前田拓郎さん(ピアノ)、
岸本萌乃加さん(ヴァイオリン)、山下靖喬さん(津軽三味線)に加え、
メゾソプラノの石田凧さんが、幼稚園でコンサートを開催しました！

2019年10月7日開催



続いて、ヴァイオリンの岸本萌乃加さん。ピアノとの共演で、まずエルガーの《愛の挨拶》から。白を基調とした

下さんが舞台から降りてゆく際には、園児から「かっこいいね」という声掛けがあり、山下さんが投げキッスをしながら「ありがとう」と笑顔で応える楽しいシーンもありました。

トップバッターは、津軽三味線の山下靖喬さん。町山太郎園長の「山ちゃん」の呼び込みで登場した山下さんは、いきなり4・5歳児の度肝を抜く《津軽あいや節》を披露。その音の迫力に、「おー！」との驚きの声が上がります。津軽三味線が「犬の皮」で

きていることは、子どもにとつてかなりの衝撃だったようでした。山下さんの独奏最後は、《津軽じよんがら節》。史上最年少で日本チャンピオンになった山下さんの三味線の響きに、子どもたちはすっかり心を奪われた様子。山下さんが舞台から降りてゆく際には、園児から「かっこいいね」という声掛けがあり、山下さんが投げキッスをしながら「ありがとう」と笑顔で応える楽しいシーンもありました。

ドレス姿の岸本さんに対し、「かわい」という声がかけてきます。岸本さんが「この楽器の名前を知っているかな？」と聞くと、園児たちはうれしそうに「ヴァイオリン」と大きな声で答えていました。演奏が始まると、弾き方を真似て手を動かす子どもも。聴くだけでなく、見ても楽しめる演奏の効果といえるでしょう。また、ヴァイオリンの弓に直に

触れてみるなど、子どもたちと演奏家の距離がぐっと近づきました。親しみやすい旋律の《美しきロスマリン》、超絶技巧が駆使されるド迫力の《剣の舞》という対照的な選曲に、ますます惹きつけられたようでした。

ピアノの前田拓郎さんが、「ピアノの鍵盤はいくつあるか知ってる？」と問いかけると、「知ってる」と元氣よく手を挙げる子どもたちですが、実際に88鍵もあることを知ってびっくり。ショパンの《小犬のワルツ》では、園児が小犬の情景を思い浮かべるような示唆が与えられ《幻想即興曲》では生演奏ならではの、視覚的な楽しみ方を体感できるよう、右手の早い動きやペダルの足の動きにも注目してほしいとの言葉が添えられます。前田さんのスピーディーな手の動きから繰り出される美しいピアノの音色を、園児たちは静かに聴き入っていました。

7周年スペシャルコンサートにも出演する石田凧さんは、子どもたちに季節感を感じてもらうために、《もみじ》《まっかな秋》といった「日本のうた」からスタート。エリック・サティの《ジュ・トゥ・ヴー》に続き、ミュージカル『マイ・フェア・レディ』の《踊り明かそう》では、オペラ歌手らしく身振りを効果的に使い、フロアの子どもたちと接近して歌いかけるなど、空間を見事に活用したステージとなりました。歌声だけではなく、表情や身振りなど身体全体で音楽を伝えようとする石田さんのパフォーマンスは、子どもたちの心に強く印象づけられたことでしょう。

コンサートのフィナーレは、園児全員と演奏家たちによる心温まる《どんぐりころころ》。全体で約45分間のコンサートでしたが、年中児にとっては集中力の限界を超えるような時間。それが、もちろん個人差はあるものの、ほとんどの子どもが集中して最後まで聴き入っていたことを、町山園長も驚いていました。「ハレ(非日常)とケ(日常)をともに大切にしたい」という園の方針もあって、毎日「好きな遊び」の時間をしっかり保障し、日常生活での「遊び」と「学び」が充実しているからこそ、子どもたちにとって「非日常」の音楽アウトリーチにも自然体で向き合える、豊かな響きの中に身をまかせられたのでしょ。



Diners Club Artist Support Fund
2019 Report

ダイナースクラブ アーティストサポートファンド 2019年報告

たくさんの方々がコンサートにご参加いただいた結果、前年を上回る寄付金が集まりました。
みなさまの熱いご支援に支えられた、2019年の結果と活動をご報告いたします。

2019年 寄付金額

寄付金総額: 2,503,380円

- (1) 会員の皆様からの寄付: 1,542,440円
〈内訳〉
アーティストサポートファンドへの寄付: 254,500円 (509,000ポイント)
7周年スペシャルコンサート(10月30日)参加費: 706,440円
アーティストサポートコンサート(1月~12月)参加費: 581,500円
- (2) 三井住友トラストクラブ株式会社からの寄付: 960,940円

【活動報告】

「アーティストサポートプログラム」

才能ある若手音楽家に上質な演奏の機会を提供するプログラムです。年に1回のスペシャルコンサート、および月に1・2回の銀座プレミアムラウンジでのコンサートを開催しています。コンサートの参加費は全額「アーティストサポートファンド」へ寄付されます。

〈2020年開催予定〉

8周年スペシャルコンサート

2020年10月24日(土): サントリーホールブルーローズ
グランドサロンコンサート

2020年6月、8月、12月: 銀座プレミアムラウンジ
サロンコンサート*

2020年7月、9月、11月: 銀座プレミアムラウンジ

(※プレミアムカード会員および銀座カード会員のみがご参加可能)

「アーティストサポートファンド」

東京藝術大学の学生が全国のさまざまな場所へ本物の音楽を届ける社会貢献活動「音楽アウトリーチ」を支援する基金です。全国の幼稚園や学校、メディカルセンターなどで毎月のように実施されており、内容もクラシックや邦楽から打楽器の演奏まで実にさまざまです。ワークショップやコンサートを通じて、聴き手である子供たちの音楽的感性の成長と、演奏する学生の音楽家としての成長が同時に感じられる活動の発展にぜひご協力ください。

2019年の活動より、

4名の東京藝術大学出身のアーティストが
東京都葛飾区の幼稚園で開催したコンサートの様子を
左ページで詳しくご紹介します!

ダイナースクラブは「アーティストサポートプログラム」と「アーティストサポートファンド」により若手音楽家の応援を継続していきます。

ダイナースクラブ60周年となる2020年は、さらに上質なコンサートを多数開催予定です。
ぜひ会場に足を運んでいただき、世界に羽ばたく若き演奏家たちの才能を感じてください!

「ダイナースクラブ アーティストサポートファンド」の詳細および活動報告は、ダイナースクラブ ウェブサイトをご覧ください。

※2019年の各報告は4月下旬掲載予定です。

www.diners.co.jp

⇒優待・サービス⇒エンタテインメント⇒カルチャー⇒ [アーティストサポートファンド](#)

20-0059

